

令和2年第6回(12月)上越市議会定例会 一般質問 通告書一覧表

表 題	令和2年第6回(12月)定例会 一般質問通告書について																																																							
内 容	<p>12月7日(月)から行われる、令和2年第6回(12月)定例会における一般質問について、24人の議員から通告書の提出がありました。</p> <p>各日の質問予定者氏名、順番、内容は以下のとおりです。</p> <p>なお、各日の質問予定者は、変更になる場合があります。</p> <p>●各日の質問予定者</p> <table border="1" data-bbox="381 598 1083 1827"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>順番</th> <th>氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">12月7日 (月)</td> <td>1</td> <td>江口 修一</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>橋本 洋一</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>渡邊 隆</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>武藤 正信</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>杉田 勝典</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ストラットン 恵美子</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">12月8日 (火)</td> <td>7</td> <td>石田 裕一</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>こんどう 彰治</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>高橋 浩輔</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>小山 ようこ</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>牧田 正樹</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>中土井 かおる</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">12月9日 (水)</td> <td>13</td> <td>宮崎 朋子</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>田中 聡</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>滝沢 一成</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>山田 忠晴</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>上野 公悦</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>高山 ゆう子</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">12月10日 (木)</td> <td>19</td> <td>丸山 章</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>平良木 哲也</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>安田 佳世</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>鈴木 めぐみ</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>宮越 馨</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>橋爪 法一</td> </tr> </tbody> </table>	日	順番	氏名	12月7日 (月)	1	江口 修一	2	橋本 洋一	3	渡邊 隆	4	武藤 正信	5	杉田 勝典	6	ストラットン 恵美子	12月8日 (火)	7	石田 裕一	8	こんどう 彰治	9	高橋 浩輔	10	小山 ようこ	11	牧田 正樹	12	中土井 かおる	12月9日 (水)	13	宮崎 朋子	14	田中 聡	15	滝沢 一成	16	山田 忠晴	17	上野 公悦	18	高山 ゆう子	12月10日 (木)	19	丸山 章	20	平良木 哲也	21	安田 佳世	22	鈴木 めぐみ	23	宮越 馨	24	橋爪 法一
日	順番	氏名																																																						
12月7日 (月)	1	江口 修一																																																						
	2	橋本 洋一																																																						
	3	渡邊 隆																																																						
	4	武藤 正信																																																						
	5	杉田 勝典																																																						
	6	ストラットン 恵美子																																																						
12月8日 (火)	7	石田 裕一																																																						
	8	こんどう 彰治																																																						
	9	高橋 浩輔																																																						
	10	小山 ようこ																																																						
	11	牧田 正樹																																																						
	12	中土井 かおる																																																						
12月9日 (水)	13	宮崎 朋子																																																						
	14	田中 聡																																																						
	15	滝沢 一成																																																						
	16	山田 忠晴																																																						
	17	上野 公悦																																																						
	18	高山 ゆう子																																																						
12月10日 (木)	19	丸山 章																																																						
	20	平良木 哲也																																																						
	21	安田 佳世																																																						
	22	鈴木 めぐみ																																																						
	23	宮越 馨																																																						
	24	橋爪 法一																																																						

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
1	
27 番 江 口 修 一	<p>1. 学校統合の進め方について</p> <p>(1) 市内の小・中学校には、複式学級となっている学校がある。今後、教育委員会として具体的な統合案を出していくのか。</p> <p>2. デジタル担当部署の設置について</p> <p>(1) 情報管理担当職員の他に外部からのCIO・CIO補佐官の登用や、デジタル担当部署を設置する考えはないか。</p> <p>3. ローカル5Gの導入について</p> <p>(1) デジタル化の進展と共にSociety5.0の時代が来る。そのような中、国や県の施策と連動し、当市も「ローカル5G」の環境整備に積極的に取り組み、IT関連企業の誘致等にも活用すべきと考えるがどうか。</p> <p>4. 人口減少と財政運営の見通しについて</p> <p>(1) 人口減少は避けて通れないものと考えている。人口の増減による地方交付税額の変化について聞きたい。</p> <p>(2) 国の地方創生に基づく「上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で、合計特殊出生率の維持向上や東京一極集中への回避等について、施策の成果は上がったのか。</p> <p>(3) 令和5年度以降の財政運営が懸念される。この対処として第6次上越市行政改革推進計画に掲げる取組の徹底を図るべきと思うがどうか。</p>

順位	質 問 事 項
議席氏名	
2	<p>1. 小中学校の統廃合について</p> <p>(1) 浦川原区で小学校の統廃合が行われ、板倉区でも3つの小学校の統合に向けた準備が行われている。急速に進む人口減少と少子化を踏まえ、今後の小中学校の在り方、統廃合に関する考え方を聞きたい。</p>
15番橋本洋一	<p>2. 指定管理者に対する減収補てんについて</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、指定管理施設の財務状況がひっ迫していると思われるが、上越市と指定管理者との協定に基づく減収補てんの状況はどうか。今後も継続して実施するのか。現状と今後の方針について聞きたい。</p> <p>3. 地域活動支援事業の在り方について</p> <p>(1) これまでの地域活動支援事業の採択状況を見ると、区によって採択方針に差があると思われるが、現状についてどう考えているか聞きたい。また、公費の支出に関しては、各区に共通した一定の基本的な取扱いがあってしかるべきと考えるが、どうか。</p> <p>4. 鳥獣被害対策について</p> <p>(1) 近年、熊の出没が増加し、人身被害の発生や多くの目撃情報が寄せられるなど市民生活に大きな影響と不安を与えている。過去5年間の当市における熊の出没・被害状況はどうか。また、これまでに実施した安全対策とその効果、来年の出没期に向けた課題と対策について聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
3	
24 番 渡 邊 隆	<p>1. 水族博物館のイルカ死亡検証について</p> <p>(1) 11月を目途に検証をまとめるとしたが結果はどうか。</p> <p>(2) イルカの死亡前との環境の変化といえば、イルカの飼育密度だけであるが、現状の環境のままで心配ないのか。</p> <p>(3) 今回の検証を機に、イルカの展示の在り方や上越市立水族博物館の個性を再考する考えはあるか。例えば、飼育頭数日本一のマゼランペンギンの展示を更に拡充させるなどの検討をすべきではないか。</p> <p>2. 児童虐待について</p> <p>(1) 近年の児童虐待の動向をどう捉え、原因をどう分析しているか。</p> <p>(2) 少子化対策を講じることも必要ではあるが、まず児童虐待の現状を絶無にする環境づくりを目指すべきではないか。</p> <p>3. 日本スキー発祥の地「金谷山」について</p> <p>(1) 今後の在り方について聞きたい。</p> <p>(2) BMXのコースを核とし、既存の傾斜地を利用するアスレチック施設や野外ステージなど、多目的な利用ができるレジャー施設に転換する考えはないか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
4	<p>1. 農業問題について</p> <p>(1) JA 全農が提示する新潟県の米の概算金が 900 円減額となった。中小規模農家にとっての影響は大きいと思うが、どのように感じているか。</p> <p>(2) 上越市は、ほぼ米作単作地帯であるが、複合経営を推進するため、園芸作物導入を進めている。当市の現状を聞きたい。</p> <p>(3) 畜産については、なかなか行政から方向性が発信されていない。市はどのような政策をとっているのか。</p>
28 番 武 藤 正 信	<p>2. 柿崎病院について</p> <p>(1) 新潟県は県立柿崎病院の市での経営を求めてきており、市は既に市立病院もある中で柿崎病院と一緒に経営することはできないと断ったと聞いている。その後何かしらの進展はあったのか聞きたい。</p> <p>(2) 柿崎病院は、県立病院としては珍しく後援会組織がある。それをどのように捉えているのか聞きたい。</p> <p>(3) 後援会を中心として、県立病院として存続させるための行動を加速したいと考えているが、存続させるための行政としての方策があれば聞きたい。</p> <p>3. 小学校の教科担任制について</p> <p>(1) 小学校 5・6 年生の英語・理科・算数の授業において、2022 年度から教科担任制が導入されようとしている。導入に向けての準備をどう行っていくのか聞きたい。</p> <p>(2) 現場の先生方にも得意・不得意があると思うが、授業を行う先生の配置についての考えを聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
5	<p>1. コロナ禍における市内企業の状況や施策と市の財政規模などについて</p> <p>(1) コロナ禍の7～9月期のGDPの実質成長率が年率換算で21.4%増となった。市内企業の生産額や売上額、個人消費等の回復状況をどう捉え、今後の地域経済の動向をどう見通しているか。また、回復傾向が顕著な業種はあるのか。</p> <p>(2) コロナ禍を見据え、市民の不安払拭に努めながら、消費マインドやイベント開催を通じた地域経済の回復に向けての施策をどう考えるか。</p> <p>(3) コロナ禍における市内の事業承継の実態や課題は何か。また、事業承継に向けた国の支援策の利用状況と成果をどう分析しているか。事業承継に当たって、市独自の「事業承継補助金」創設を検討できないか。</p> <p>(4) コロナ禍で市税や交付税の落ち込みが見込まれる中であっても、新型コロナウイルス対策で膨らむ政策的経費に必要な財源の確保は避けられないと考える。財政調整基金の取崩しも含め、新年度予算の規模をどのように考えているのか。</p>
26 番 杉 田 勝 典	<p>2. 観光振興や移住促進などに向けたシティプロモーション戦略について</p> <p>(1) 観光振興や移住促進などの観点から「市をどう戦略的に広報するか」が課題である。LINEなどのSNSも利用した街の魅力を強力に発信する「シティプロモーション」専任担当者を置く考えはないか。</p> <p>3. 新たな働き方「協同労働」について</p> <p>(1) 非営利性の高い職場で「協同労働」の仕組みを取り入れるケースが生まれており、今後「協同労働」が法人格を持つことになるが、市としてどう考えるか。</p> <p>4. 行政のデジタル化推進について</p> <p>(1) 国が行政のデジタル化を本格的に進めることから、当市もデジタル担当部署「デジタル推進室」を設置する考えはないか。</p> <p>(2) 行政手続の押印廃止の方向性はどうか。また、廃止に係る課題はあるのか聞きたい。</p>

順位	
議席氏名	質 問 事 項
6	<p>1. 上越市の観光施策について</p> <p>(1) 今年、新型コロナウイルス感染症により多くの事業が中止を余儀なくされている。上越市観光交流ビジョンに基づくアクションプログラム 2020 では、地域全体で観光地域づくりを進めるためのマインドを底上げする取組を実施しているが、現在の進捗状況や今後の進め方についてどのように考え、どのように評価しているか。また、課題についてどう捉えているか聞きたい。</p> <p>(2) 小木直江津航路へのジェットfoil導入の方向性を踏まえ、当市を經由して佐渡市へ観光に訪れる観光客の動線をどのように考えているか。また、市として今後の観光施策の方向転換はあるのか。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全国各地の観光業が旅行需要の落ち込みに直面する中、当市においても効果的な観光振興策は必須である。コロナ禍だからこそ、国内外を問わず当市の魅力をオンライン上でPRするチャンスであると考え。市が作成するホームページやSNSなど、閲覧数や検索解析などをどのように分析しているか。また、それらの結果を踏まえ、今後どのような展開を考えているか見解を聞きたい。</p>
4 番 ス ト ラ ッ ト ン 恵 美 子	<p>2. 小・中学校における英語教育の活性化について</p> <p>(1) 小・中学生が英検などを受験する場合に、保護者の経済的な負担軽減の観点から、受験料の一部を年1回助成する制度を創設できないか。結果として、多くの児童・生徒が積極的に受験できるようになり、将来的に上越市の英語教育向上の足掛かりになると考えるがどうか。</p> <p>(2) 小学校5・6年生からの英語教科が必修化されたことを受け、中学生及び小学校5・6年生を対象とした「上越市英語スピーチコンテスト」の開催を検討してはどうか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
7	<p>1. 今後の財政健全化と財源確保に向けた取組について</p>
18 番 石 田 裕 一	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、市の財政は厳しい状況にあると考える。来年度の税収の減少をどの程度見込んでいるか聞きたい。また、減収分の自主財源の確保と財政健全化にどのように取り組んでいくのか聞きたい。</p> <p>(2) 今年度は、新型コロナウイルスの影響で温浴施設などの公共施設を運営する指定管理者に対して減収分を補填している。更に営業が不振の施設では、冬期間営業休止するなどの対策をとっているが、今後更に財政を圧迫していく可能性がある。このまま来年度以降も支援する考えなのか聞きたい。</p> <p>(3) 新年度予算では、収支のバランスが一層崩れると予想されるが、財政健全化とともに、更に行財政改革を加速させていくのか聞きたい。また、現段階で収支均衡を図るために、どのように取り組んでいくのか考えを聞きたい。</p> <p>(4) 今年度、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止が決定した事業やイベント等について、その事業費を減額補正しないのはなぜか。また、その財源の今後の取扱いをどのように考えているか聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席氏名	
8	<p>1. 都市計画道路を含む道路の整備計画について</p>
30番 こんどう 彰治	<p>(1) 都市計画道路「飯寺町線」について</p> <p>ア 現在、寺町3丁目地内から寺町2丁目地内までの間は市道「裏寺線」として利用されているが、寺町2丁目地内から儀明川を渡って寺町1丁目地内までの間が整備されていない。この計画道路は通学道路としても活用できるため、以前から地元要望が強い路線である。現段階での整備の計画について聞きたい。</p> <p>イ 現在の通学路となっている市道「表寺線」の寺町1丁目地内は、歩道の幅員が狭く、特に冬期間における通学路の確保が困難な状況であり、これまで万全な除雪対応を要望してきた。今年の冬も例年に引き続き安全な通学路の確保ができるのか改めて考えを聞きたい。</p> <p>(2) 市道「西小学校東通線」において、道路西側の側溝に蓋がなく、危険極まりない状況であり、登下校する児童の安全確保のためにも蓋付きの側溝にしてほしいという地元からの要望がある。市はどのように考えているか聞きたい。</p> <p>(3) 一般県道「後谷黒田上越妙高停車場線」の一部区間は、都市計画道路「黒田脇野田線」として計画決定されているが、現時点での整備予定はどうか聞きたい。</p> <p>2. 儀明川改修を含む安全対策について</p> <p>(1) 仲町1・2丁目、本町1・2丁目地内を流れる儀明川において、台風時などによる越水が幾度となく見受けられる。嵩上げ工事をするとのことだが、依然として改修されていない。県の事業であるが、市民の生命と財産を守る観点から県との協議はどのように行われているのか聞きたい。</p> <p>3. 金谷山公園について</p> <p>(1) 日本スキー発祥の地として金谷山シャンツェがあったが、現在は老朽化や少雪により取り壊されており、跡地は木々で鬱蒼としている。国体も幾度となく開催され、日本のトップジャンパーが育った経緯があるこの跡地に記憶に残るモニュメントなどを残せないか。</p> <p>(2) コロナ禍における上越市 BMX 場の本年度の利用率などについて聞きたい。また、この BMX 施設の利用促進を含め、将来的にどのように活用していくのか聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席氏名	
9	<p>1. 「地域の宝」認定制度について</p>
5番 高橋浩輔	<p>(1) 今年度、「地域の宝」認定制度が創設され、募集が行われた。その結果、60件の申請があり、全てが認定された。募集から認定に至るまでのプロセスと審査基準を聞きたい。</p> <p>(2) 初年度のここまでの取組を通じて分かったことや、浮き彫りになった課題があれば聞きたい。</p> <p>(3) 本制度の趣旨は、「市民がそれぞれの地域で大切に守ってきたものを主体的かつ積極的に保存・活用する活動に光を当てることにより、関わる人々の更なる熱意につなげ、地域に対する誇りと愛着を醸成し、地域の活性化と維持存続及び地域で大切に守られてきたものの保存を図ること」と理解するが、その効果を上げるために関係する人々とどのような関わりを持っていくのか聞きたい。</p> <p>(4) 本制度は、「地域の宝」の認定を3年間にわたって実施するものであるが、実施期間終了後、どのようにして継続的な関わりを持っていくのか聞きたい。</p> <p>(5) 今後の「人と文化財との関わり」をどのように捉え、どのように具現化していくのか、将来的な見通しを聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
10	<p>1. スクールロイヤー(学校弁護士制度)について</p> <p>(1) 県では今年度、新潟県弁護士会の協力の下、10名のスクールロイヤーを県内に配置し、要請のあった県立学校及び市町村立学校に派遣する事業を実施している。過去の委員会において、上越市では「新しい対策としてスクールロイヤーを検討している」と答弁していたが、スクールロイヤー制度をどのように考えているか聞きたい。</p> <p>(2) 上越市は県内3番目に子どもの数が多い。近年、学校では、価値観やニーズの多様化、複雑化によってさまざまなトラブルが発生し、その解決のために教職員の精神的な負担が高まっている。また、子ども同士のいじめや、保護者とのトラブルの未然防止のためスクールロイヤーを上越市独自に配置すべきと考えるがどうか。</p>
2番 小山 ようこ	<p>2. 部活動を理由とする「校区外通学」について</p> <p>(1) 中学生の部活動について現在、市では「進学先の中学校に、生徒が活動したい部活動が設置されておらず、県や各種団体等の強化指定を受けている生徒については「部活動を理由とした校区外通学」を認める」とあるが、スポーツ継続のため、強化指定を受けていなくても「校区外通学」を認めるべきと考えるがどうか。</p> <p>3. 老朽化した上越市総合体育館の改修について</p> <p>(1) 上越市総合体育館について、観覧席横の窓に老朽化によるひび割れが生じており、危険であると感じる。改修すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 上越市総合体育館は、部活動の大会や地域スポーツ大会など多くの大会を開催する場所であるため、誰もが使いやすい洋式トイレへ改修すべきと考えるがどうか。</p> <p>4. リージョンプラザ上越の改修等について</p> <p>(1) リージョンプラザ上越における老朽化が進んでいるトイレについて、新型コロナウイルス対策も含め、洗面台やトイレのレバーを自動水栓に改修すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 敷地内のバス駐車場周辺の歩道やベンチが落ち葉などにより利用しにくい状況にあることから、利用しやすい環境に整えることで、観光物産センターまでの動線が分かりやすくなり、物産センターの利用客も増やすことができると思うが、市として考えはないか。</p>

順位	質 問 事 項
議席氏名	
11	
12 番 牧 田 正 樹	<p>1. 県立柿崎病院の市主体の運営問題について</p> <p>(1) 新潟県は県立柿崎病院をはじめ、4 県立病院の市町主体での運営方針を変えておらず、住民説明会の開催も含めて議論を進めたいとしている。市長は県立柿崎病院について、市民が安心して暮らせる地域医療体制を確保していくと表明されているが、現在の議論状況について聞きたい。</p> <p>(2) 再編統合の対象となっている他地域では、県立病院の県立県営での存続に向けて署名活動や陳情の取組がされている。今後、県立柿崎病院の県立県営での存続に向け、市として地元町内会や病院後援会とどう連携し、取り組んでいく考えか聞きたい。</p> <p>2. 安全安心な学校給食について</p> <p>(1) 健やかな成長に必要な栄養摂取や食育の推進のため、学校給食は重要な役割を果たしている。その中であって、栄養教諭等はどうな役割を担っているか聞きたい。</p> <p>(2) 今年度は、市雇用の学校栄養職員が昨年度に比べて削減されている。その理由と兼務校が増えることによる影響、来年度以降の職員配置の考え方について聞きたい。</p> <p>3. 公の施設の適正配置計画について</p> <p>(1) 公の施設の適正配置計画の策定に当たって、地域住民の納得という観点から市の取組内容を聞きたい。</p> <p>(2) 地域人口が少ない地域において、施設を貸付又は譲渡とした場合、維持管理費の地元負担が大きくなり、結果として地域活動が衰退してしまうと考えるが、市の見解を聞きたい。</p> <p>(3) 吉川区では、公民館(分館)や生涯学習センターの多くが適正配置の対象となっているが、これまで地域で果たしてきた役割をどう総括し、今後の公民館事業をどのように取り組んでいくのか聞きたい。</p>

順位	
議席氏名	質 問 事 項
12	<p>1. 育児サポート事業について</p> <p>(1) コロナ禍において、産後うつの可能性が高いとされる母親の割合が増えたとの研究報告が出ているが、当市の実態はどうか。</p> <p>(2) うつの予防と早期発見のためには、アウトリーチ型の産前・産後ヘルパーの利用促進と期間延長が必要と考えるがどうか。</p> <p>(3) 保護者が健康で前向きに育児に向き合える環境が必要と考える。子育て世帯を応援するため、乳幼児を抱える保護者の負担軽減やリフレッシュ機会の確保などを目的とした「子育て支援サービス利用券」の配布制度を導入してはどうか。</p> <p>2. 成年後見制度について</p> <p>(1) 判断能力が不十分な方の財産と権利を守るために、2000年に成年後見制度がスタートしたが、この制度の利用状況はどうか。</p> <p>(2) 独居の認知症の方や障がいをお持ちの方の地域生活を支えていくため、今後、更に成年後見人の需要が高まり、人材不足が想定されるが、市としてどのように考えているか。</p>
順位	
議席氏名	質 問 事 項
13	<p>1. コロナ禍における農業への影響について</p> <p>(1) コロナ禍で水稻をはじめとする農作物への影響はあったか。また、市が支援するインターネットショッピングモールを活用した事業の進捗状況について聞きたい。</p> <p>2. 「上越市都市計画マスタープラン」について</p> <p>(1) おおむね20年間の上越市の将来像を示す「上越市都市計画マスタープラン」の策定経緯について聞きたい。</p> <p>3. 「災害に強いまちづくりの推進」について</p> <p>(1) 当市の災害対策や自助・共助のための取組について、以下のことを聞きたい。</p> <p>ア 日中高齢者しかいない地域も多い。地域内の企業と住民が、災害時に協力できるような関係を構築することが必要と考える。防災訓練も含め、そのような関係が取れているのか聞きたい。</p> <p>イ 人口が減少することに伴い、自主防災組織の活動ができなくなることが懸念される。そのような自主防災組織に対する市の考えを聞きたい。</p> <p>ウ 個人の裏庭や裏山の土砂崩れなどに対して不安に思っている市民もいる。そのような声にどのように対応しているか聞きたい。</p> <p>エ 災害時に長期避難となっても、人が人らしく生活を送れる「みなし仮設住宅」として空き家を活用する方法もあると思うが、市としてどう考えるか。</p> <p>(2) 個人の畑や平地にも鳥獣被害の不安が広がっている。今後、人々が安心して暮らしていくための鳥獣対策を住民と一緒に考える必要があると思うがどうか。</p>
6 番 宮 崎 朋 子	

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
14	<p>1. 行政改革の推進について</p>
17 番 田 中 聡	<p>(1) 公の施設の適正配置計画を今年度末に作成する予定で、関係団体や地域協議会と話し合いを進めているが、様々な反応が出ている。意見の多様性があることは良いが、行政改革の目標が正しく伝わっていないことによる議論の硬直が懸念されることから、具体的なメッセージの発信を強化していく考えはないか。また、多様な世代とビジョンを共に考え共有していく取組をどのように考えているか聞きたい。</p> <p>2. 市内経済への対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルスの影響もあり、市内経済の縮小が心配されるが、新年度予算編成に向けて、市内経済対策をどのように考えているか。</p> <p>3. コロナ禍における子育て支援の取組について</p> <p>(1) コロナ禍において、外出や行動の制限を余儀なくされる乳幼児をもつ保護者の悩み相談への対応について聞きたい。また、入場制限がかかっているこどもセンターのほかに、市の施設を活用し、子育て親子が安心して遊べる環境を増やすことはできないか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
15	
21 番 滝 沢 一 成	<p>1. 消融雪施設基本計画における消雪パイプの新設について</p> <p>(1) 加温式消雪パイプの新設に関し、要望している各町内会へのそれぞれの対応と見通しはどうか。</p> <p>(2) 優先順の点数付けの根拠となる調査はどのように行われているのか。</p> <p>(3) 次期計画に向けた動き出しの時期はいつか。</p> <p>(4) どのような条件を満たせばそれぞれの要望に応じていけるのか。</p> <p>2. スーパーシティ構想について</p> <p>(1) 地域の課題を世界最先端の技術で解決する「スーパーシティ」構想は、「まるごと未来都市」の実現を地域と事業者と国が一体となって目指す取組である。上越市は、参画を検討すべきではないか。</p> <p>(2) 「スーパーシティ」に限らず、複数の先進的取組に様々な地方都市が取り組んでいる。上越市は、そうした先進的な取組に一見消極的に見えるが、どのように考えているか。</p> <p>3. ふるさと納税について</p> <p>(1) 上越市は、ふるさと納税を積極的に活用してきたとは言えない。そこには税というものへの市長の考え方があり、一定の理解をするところではある。しかしながら、市長の価値観でふるさと納税という制度をいかしきれないことは正しいこととも言い切れない。市としてどう考えるか。</p> <p>4. 佐渡汽船への支援について</p> <p>(1) 佐渡汽船の債務超過への対策として、県が9億円、佐渡市が約3.5億円、そして上越市が1.7億円支援するという報道が複数ある。その方針は事実か。事実でないとしたら、なぜこのような報道がなされたのか。</p> <p>(2) 県及び佐渡市と当市との認識のずれがあるのではないか。</p> <p>(3) 上越市は佐渡汽船の株主ではない。一方、小木直江津航路があることで市民は一定の利便を得ている。現時点でどのような解決がふさわしいと考えているか。</p> <p>(4) 今定例会に、予算計上できなかった理由は何か。</p>

順位	
議席氏名	質 問 事 項
16	<p>1. 当市における脱炭素社会への取組について</p>
11番 山田忠晴	<p>(1) 上越市第6次総合計画の環境分野に地球温暖化対策の推進が掲げられている。当市における温室効果ガス排出量の目標値の算定方法と現在の状況、目標値達成に向けた今後の取組について聞きたい。</p> <p>(2) 市民に分かりやすい表現で脱炭素社会に向けた目標を立て、行政と市民が一体となって取り組む考えはないか。</p> <p>(3) 脱炭素社会への取組は、国や県、近隣市町村と連携をとりながら推進すべきと考えるが、現状はどうか。</p> <p>(4) 現在、交通手段としてガソリン車やディーゼル車が多く使用されているが、当市における電気自動車の普及状況を聞きたい。また、当市の公用車における電気自動車の台数と、今後、電気自動車を増やしていく計画があるか聞きたい。</p> <p>(5) 今後、電気自動車の普及が加速すると思われる。市役所駐車場スペースに電気自動車の充電設備を導入する考えはないか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
17	<p>1. 新型コロナウイルス感染症から命と暮らし・生業を守る支援策について</p>
29 番 上 野 公 悦	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の第3波襲来によって、ますます市民の命と暮らし・生業は危機的な状況に追い込まれている。これまで以上に財政調整基金の活用も含めた緊急かつ、きめ細かい支援策が必要になってきていると考える。そこで、次の点について市長の考えを聞きたい。</p> <p>ア 小規模事業者の中には、年末を目前にして、更には年度末も控えていることから、事業継続への大きな不安と諦め感が広がっているが、市内の状況をどう捉えているか。また、市独自の更なる事業継続に資する支援金など、新たな支援策や固定費の支払猶予延長などを講じるとともに、持続化給付金の再支給を国に求めるべきではないか。</p> <p>イ ひとり親家庭、特に母子家庭は更に深刻な状況になっている。年末を少しでも暖かく過ごせるような支援策、例えば年末給付金の支給やお米・餅などの配給ができないか。</p> <p>ウ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活変容などによって、人々の絆や心も変容し、DVや児童虐待、更には自殺なども急増している。当市におけるDVや児童虐待、自殺などの状況はどうか。また、これらを防ぐための施策について聞きたい。</p> <p>2. 小木直江津航路の就航船舶の変更と佐渡汽船への支援について</p> <p>(1) 小木直江津航路の就航船舶変更によって、貨物航送や車両航送が新潟・両津航路のみになる。また、小木直江津航路は、ジェットfoilへ変更されると船賃が高くなる。当市への経済や観光への具体的影響についてどう考えるか。</p> <p>(2) 佐渡汽船側から県や佐渡市、上越市に対して、新たな財政支援について求められた。新聞報道によれば、県では約10億4,000万円の支援を、佐渡市では約3億6,000万円の支援を行う事が明らかになった。県の支援額の中に上越市分も入っており、上越市は、来年度予算で対応する方針とされている。4者トップ会談後の経過を明らかにしてもらいたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
18	<p>1. 上越市における広域最終処分場の建設について</p> <p>(1) 上越市が次期処分場の候補地になった経緯について聞きたい。</p> <p>(2) 現在、3次調査段階において11か所の候補地が決まり、来年2月頃には4次選定で環境条件、建設条件、運搬条件の3区分(11項目)で評価され、3~5か所に絞られた後、具体的地名の公表、地元関係者への説明をするようであるが、これらをどのような形で実施するのか。</p>
7 番 高 山 ゆ う 子	<p>2. 公立保育園の民営化について</p> <p>(1) 市は再配置計画により、公立保育園を積極的に民営化する方向で動いているが、浮いた財源をどのような子育て施策に活用していくのか。</p> <p>(2) 令和4年度に民営化する保育園は4園を予定しているが、既に民営化した保育園の現状はどうか。また、公立保育園で働いていた保育士の雇用はどうなったのか。</p> <p>(3) 既に民営化した公立保育園が4園あり、令和4年度に新たに4園を民営化する。今後更に民営化を進めていくのか。</p> <p>3. 子どもの主体性を育む防災教育について</p> <p>(1) 近年、自然災害が多発する中で、子どもたちの命を守るための取組が重要な課題となっている。平成23年3月に発生した東日本大震災では、多くの子どもたちが犠牲になった。新潟県では中越大震災の義援金を活用した「新潟県防災教育プログラム」補助金事業を平成26年から行っているが、当プログラムを活用した上越市立学校の取組実施状況はどうか。</p> <p>(2) 上越市立黒田小学校の「防災キャンプ」の取組は、平成29年から継続的に行われている避難所講座の素晴らしい取組であり、学校独自の総合的な防災学習計画として6年生を対象に実施している。子どもたちが自らの命を守り抜き、人の気持ちに気付き考え、自分にできることをやっていく・・・そんな子どもの主体性を育む防災教育が大切であると考えているが、学校教育の一貫での防災教育の実践、PTAや地域との連携を考慮したこうした取組を教育委員会として広めていく考えはないか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
19	<p>1. 上越市における廃棄物の広域最終処分場の整備について</p>
13 番 丸 山 章	<p>(1) 新潟県で整備が進められている広域最終処分場について、既に5回にわたり上越地区における広域最終処分場候補地検討委員会が行われ、オブザーバーとして、上越市、上越商工会議所が参加しているが、議論に「なった」又は「なっている」課題や問題点等を聞きたい。</p> <p>(2) 最終処分場を建設するに当たり、面積や構造、廃棄物の処理方法等、さらに道路整備、環境面等における対策に関して、上越市の基本的な考え方と県への対応を聞きたい。</p> <p>(3) 候補地に選定された地元における各種団体等への説明について、どの程度の範囲を想定し、県へ要望するのか聞きたい。</p> <p>(4) 今年度中に3~5か所を選定の上、具体的な候補地の場所を公表し、令和3年度以降に県が建設予定地を決定するとしている。選定された地元の意向を上越市としてどのようなスタンスで対応しようと考えているのか聞きたい。</p> <p>2. 統一した都市(まち)づくり計画の策定について</p> <p>(1) 上越市第6次総合計画、上越市都市計画マスタープラン、第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略、上越市立地適正化計画の4つの計画は、都市(まち)づくりに関する計画であることから、内容が重複している点も多い。全体を整理し、もっとコンパクトに分かりやすく統一した計画にまとめ、まちづくりを推進することが大切と考えるがどうか。</p> <p>3. 新たな都市(まち)づくりについて</p> <p>(1) 高田区と直江津区は、今まで多くの政策・施策を講じながら質的向上のまちづくりを推し進めてきているが、なかなか成果が出ない。しかも、高田区と直江津区の誘導重点区域は空き家も増え、人口減少が顕著になってきている。改善されない原因や課題、問題点を徹底的に浮き彫りにし、今後どうすべきかを愚直に問題提起しながら、歴史文化と新たな文化が共存する、新たな都市(まち)づくりへ誘導していくことが肝要と考えるがどうか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
20	<p>1. 公共施設のバリアフリー化について</p> <p>(1) 公共施設におけるユニバーサルデザインの推進の現在の進捗状況はどうか。また、どのように評価しているか。</p> <p>(2) 上越科学館や高田城址公園のトイレ、日本スキー発祥記念館の段差など、バリアフリー化が遅れている箇所への具体的な取組をどう計画しているのか。</p>
20 番 平 良 木 哲 也	<p>2. 新型コロナウイルス感染拡大から市民生活を守る上での緊急課題について</p> <p>(1) 施設利用者への感染を未然に防ぎ、重症化を避けることなどを目的に、介護事業所・障害者施設・児童養護施設・保育園・幼稚園の職員へのPCR検査を、東京都世田谷区が行っているような形で実施してはどうか。</p> <p>(2) 初期症状が似ているとされている季節性インフルエンザの流行をできる限り避けるため、市民へのインフルエンザ予防接種助成制度を緊急に大幅な拡充をすべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 社会福祉協議会が行っている緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付について、困窮している市民への支援として、厚生労働省に対して受付期間の再延長を働きかけるべきではないか。</p>

順位	
議席氏名	質 問 事 項
21	<p>1. 小木直江津航路を含めたこれからの上越の観光について</p> <p>(1) 令和2年10月20日の文教経済常任委員会において、上越市は佐渡汽船に対して条件を付けることで、小木直江津航路の就航船舶の変更を認める方針が示された。その後の協議の経過を聞きたい。</p> <p>(2) 佐渡汽船が財政支援を求めていることに対して、新潟県と佐渡市は支援をする方針を示しているが、上越市は財政支援を行わないのか。財政支援に対する市の考え方を聞きたい。</p> <p>(3) 小木直江津航路には、観光航路と生活航路としての側面があるが、観光航路としての利用が多い。上越市にとって小木直江津航路の必要性をどのように考えているか。また、小木直江津航路を担う佐渡汽船と今後どのように関わっていくのか聞きたい。</p> <p>(4) 今後、小木直江津航路は、あかねに代わってジェットfoilが運航される見通しである。車両輸送や貨物輸送ができなくなることで、上越・佐渡における観光戦略を見直す必要があると考えるが、どうか。</p> <p>(5) これからの上越の観光において、今後、地域として広く捉えた観光戦略を考えながら、地域間連携を深めていく必要があり、佐渡市等の周辺自治体との地域間連携が重要だと考えるが、どうか。</p> <p>(6) 今後の観光戦略を考えるうえで、観光施策の評価として、来訪者数だけでなく、来訪者の満足度や旅行消費額を調査し、結果を活用していくことが有効であると考えるが、どうか。</p>
1 番 安 田 佳 世	<p>2. 上越市の乳幼児教育・保育について</p> <p>(1) 近年の乳幼児教育・保育施策や、令和元年10月から始まった幼児教育・保育の無償化により、子どもたちの乳幼児教育や保育を担う場が多様化している。その中で、上越市で育つ子どもたちがより良い教育や保育を受けられるようにするために、園の形態や、公立・私立にかかわらず、乳幼児教育・保育の提供体制を確保していく必要がある。今後、上越市として、乳幼児教育・保育に関する量の確保と質の向上をどのように行っていくのか聞きたい。</p> <p>(2) 全国的に、保育士・幼稚園教諭・保育教諭等の人材確保が難しい状況にあり、上越市においても同様である。多様な保育需要への対応や、質の高い乳幼児教育・保育のためには、保育士等の十分な確保が必要であり、今後より一層力を入れて取り組むべきであると考えているが、どうか。例えば、上越市と保育園等が連携し、上越市で子どもと関わる仕事に就く良さややりがいをもっとPRしたり、保育士等として上越市内に就職する人に支援金や補助金、祝金等を支給する制度を創設したりしてはどうか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
22	<p>1. 温室効果ガスの実質的排出量ゼロについて</p> <p>(1) 国は2050年までに、国内の温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすると表明したが、市としての方針及び具体的なアクションプランはあるか。市としても温室効果ガス削減へ向けた支援策を打ち出す必要があると考えるがどうか。</p>
3 番 鈴 木 めぐ み	<p>2. ピンクリボン温泉ネットワーク活動について</p> <p>(1) 乳がんの手術をされた方にも温泉を楽しんでもらえる環境作りに取り組むため、市が所有する温浴施設において、ピンクリボン温泉の普及促進が必要と考えるがどうか。</p> <p>3. 若者や子ども向けの屋外スポットの整備について</p> <p>(1) 上越市内には子どもから若者が気軽に遊べる屋外スポットがほとんどない状況である。市内の公園に3オン3やボルダリングなど屋外で気軽に遊べる環境を整備する必要があると考えるがどうか。</p>

順位	
議席氏名	質 問 事 項
23	<p>1. 極限社会と向き合うための市の対策について</p>
9 番 宮 越 馨	<p>(1) 今日の様々な社会現象や現実を見るに、極限社会と向き合っていると言っても過言ではない。その上、まさかの新型コロナウイルスとの闘いまで降りかかるとは想像だにできなかった。新年度予算の編成を迎える中、このような時代現象をどう捉え、こうしたファクターに対しどのような対策をもって対応していくか、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 人口減少問題は、まさに極限の最大課題である。上越市の人口は、19万人を割り、20年後には14～15万人、40年後には11万人台になると予想され、今に生きる土台の崩壊は目前となっている。今こそ具体的な人口減少対策を講じることが喫緊の課題となっている。私が提唱している新たに生まれる第3子以降を対象とした「(仮称) 子供年金制度」の導入を図るべきと考えるが、具体的な人口減少対策を聞きたい。</p> <p>イ 「介護地獄」が待ち受ける極限社会では、認知症患者が急増し、2018年時点では高齢者の約7人に1人、2025年には675～730万人と高齢者の約5人に1人となる。当市においても介護施設入所待機者や認知症患者が急増していると考え、 「介護地獄」への対応は万全なのか、その対応策を聞きたい。</p> <p>ウ 空き家の現状も極限の域にある。平成30年時点では、全国6,241万戸のうち、空き家が849万戸で空き家率が13.6%、上越市8万戸のうち1万戸が空き家で空き家率13.5%となっており、ここ数年急増している。こうした構造的な問題に対して、どのように対策を講じようとしているのか聞きたい。</p> <p>エ 2015年農業センサスにおける耕作放棄地は、全国42万ha(富山県の面積とほぼ同じ)で449万6千haの9.3%、上越市1,234haで1万7千500haの7.1%となっている。農業従事者の高齢化(平均年齢約71歳)が進み、耕作放棄地の拡大が懸念されるが、どのような対策をとっているか聞きたい。</p> <p>オ 地籍の未確定地が多く様々な事業の推進に妨げとなっている。地籍調査などに積極的に取り組む必要があるが、こうした現状にどう対処するか聞きたい。</p> <p>カ 空き校舎については、平成30年全国小中高校36,563校に対して6,580校18%、上越市は90校に対して17校19%で、さらに近年10校程度が見込まれる。空き校舎を農都市学校や田園マンション、野菜工場などとして活用してはどうかと考えるが、こうした空き校舎対策について市の考えを聞きたい。</p> <p>キ 大合併が生んだ公の過大な施設の存続廃止問題も行政上の極限問題である。鋭意取り組んでいるものの、その活用には地域の活力が減退しない工夫をすべきと考える。特に施設廃止に伴う処分費用が膨大となることから、国の政策方針によるものや景気対策等で整備された経緯を踏まえ、国に処分費の助成を求めべきと考えるがどうか。</p> <p>ク 人口減少下での将来の財政バランスも極限の域にある。後年度へのコストプッシュを避けるため、あらゆる面での税源涵養策を図るべきである。「ふるさと納税制度」活用や企業誘致などでの税収の確保、行政のスリム化は避けられないと考えるが、具体的な構想とその決意を聞きたい。</p>

	<p>ケ 上越市の都市計画は、経年経過により著しく現実にそぐわず、極限状態となっている。新幹線開業もあり、土地利用や都市計画道路の見直しは民間経済活性化に欠かせなくなっている。まちづくりへの新たなニーズに添い、抜本的な見直しをすべきと考えるがどうか。</p> <p>コ 新型コロナウイルスへの不安という極限状態にどう対処するかは、ワクチンの普及が先かという問題もあるが、日常の生活様式を取り戻すことと経済活動の正常化にある。そのために、PCR検査を徹底し、市中の無症状感染者を早期に見つけ、陰性社会をつくる必要がある。今回の補正予算で一步前進したが、更に検査体制を広げるといふ決意を聞きたい。</p>
<p>順位 議席 氏名</p>	<p>質 問 事 項</p>
<p>24</p>	<p>1. 財政問題について</p>
<p>31 番 橋 爪 法 一</p>	<p>(1) 令和2年度内の資金繰りはどういう状況か聞きたい。</p> <p>(2) 令和3年度予算編成に当たっての基本的スタンス及び「全ての事務事業に抜本的な見直し」など編成時の取組について聞きたい。</p> <p>2. 原子力防災対策について</p> <p>(1) 「新型コロナウイルス感染拡大を踏まえた感染症の流行下での原子力災害時における防護措置の実施ガイドライン」を市としてどう捉えたか。また、今後の対応について聞きたい。</p> <p>3. 県立柿崎病院について</p> <p>(1) 県が県立病院の統廃合や地域医療体制の縮小などについて、関係自治体と協議を依然として続けていることは問題だと思いが、市長の認識はどうか。</p> <p>(2) 県は、「持続可能な医療提供体制を確保していくために」市町村や民間に運営を任せることが必要だとしているが、どのようなことをもって持続可能になると市に説明しているのか。</p> <p>(3) 本市住民に関わりのある松代病院、妙高病院については、地元自治体の首長などが県立病院として維持するよう県に出かけて要請している。柿崎病院についても、ぜひ市長から先頭に立って働きかけをしていただきたいが、どうか。</p> <p>4. 公の施設の適正配置について</p> <p>(1) 生涯学習センターや公民館分館の適正配置を進める場合、住民合意をどのようにして得るようにしてきたのか聞きたい。また、地域活動の拠点をどう確保するのかなど今後の課題をどう整理しているか。</p> <p>(2) 「近いエリアに複数あるスポーツ施設」の統廃合はどのような方針で進めるのか聞きたい。</p>